

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	補助教材整備事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	学校教育課				
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	学校教育係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		1 教育を支える学習環境を整備する					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	1	目	3	大	2	中	2	
	根拠法令・個別計画	学校教育法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="radio"/>	一部又は全部委託		
			指定管理・外郭団体			名称:						
			NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	授業に必要となる教科書、指導書および副読本を配布・活用し、良好な学習指導を行う。											
内容 (手段)	<p>○授業で使用する教科書、指導書を購入し、教員へ給付した。 ○授業で使用する副読本を購入し、教員、児童・生徒へ給付した。 ○社会科副読本「小牧」を編集・印刷し、教員、児童・生徒へ給付した。(編集及び原稿作成業務は委託した) ※教科書改訂により、小学校教科書が変わったために、22年度は事業費が大きくなっている。</p> <p>【教科書・指導書】 ・小学校:国語、書写、社会、地図、算数、算数補助教材(移行措置分)、理科、理科補助教材(移行措置分)、生活、音楽、図画工作、家庭、保健 ・中学校:国語、書写、社会(地理、歴史、公民)、地図、数学、数学補助教材(移行措置分)、理科、理科補助教材(移行措置分)、音楽(一般、器楽)、美術、保健体育、技術、家庭、英語</p> <p>【副読本等】 ・小学校: 明るい心、観察と実験、健康手帳、わたしたちの安全、家庭科ノート、たのしい体育、はばたく大愛知、こまき、白地図、夏休みの日誌、冬休みの日誌 ・中学校: 中学体育実技、中学私たちの安全、生活と進路、明るい人生、実験と観察、健</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	35,169	70,918	60,645	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.08	0.08
			人件費	千円	268	429	429
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計		千円	35,437	71,347	61,074
	対前年比		%		201.3		
財源	一般財源	千円	35,437	71,347	61,074		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23	
		副読本の種類	種	目標	—	—	—	
				実績	21	21		
		児童生徒数	人	目標	—	—	—	
				実績	13,753	13,604		
				目標				
			実績					
	績	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
			配布した副読本の授業への活用率	%	目標	100	100	100
					実績	100	100	
				目標				
				実績				

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	必要最低限数を把握し、購入、給付をしており、適切に事務がすすめられている。副読本（補助教材）を利用することで、教科書の理解をより一層推進している。		
	事業を廃止・休止したときの影響	教員が円滑に教育活動を行ううえで、教科書、指導書、副読本の配布は必要不可欠であり、事業の廃止・休止は考えられない。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	教科書、指導書、副読本の配布なくして、教員が円滑に教育活動を行うことは不可能である。良好な学習指導を行うために、本事業は必要不可欠である。		
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	一定の教育水準を確保するため、これまでどおり実施する。中学校教科書についても、新学習指導要領に基づき改訂されたものを採択決定し、平成24年度に使用する。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		